

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2011年7月4日(月) 9:40～11:35
実施場所	下作延小学校
スタッフ	久保(高津区)、小林、二見(TRネット)、池田、岡本、石川(緊急雇用)
実施対象	3年生2クラス(約67名)
実施内容	

1 授業内容

- (1)下池の生きものすくい【1組】と生きもの観察
- (2)中池の生きものすくい【2組】と生きもの解説
- (3)観察時間、質疑応答

生きもの採取方法は、各児童が順番にタモ網を持ち、交代して行った。

	1組	2組
9:40～10:15 下池	生きもの採取	池の周りで観察
	下池で採れた生きもの解説	
10:15～10:50 中池	池の周りで観察	生きもの採取
	中池で採れた生きもの解説	
10:50～11:35	観察時間、質問コーナー、まとめ	

2 事前・事後作業

- ・生きものを採取しやすいよう、事前に池の水位を下げ、水草や石などを取り除いた。
- ・採取した生きものを入れるケース、タモ網を用意した。
- ・授業終了後、今後ビオトープの整備がしやすいよう、下池の落ち葉を取り除き、石、フナは中池に移動させた。

生物・植物

コイ、ギンブナ、キンブナ、スミウキゴリ、アカムシ、カワニナ、ヤゴの抜け殻

問題点・気付いた事・その他

- ・フナがとて多く、水生生物がほとんど見受けられなかった。
- ・スミウキゴリは本来、汽水域で見られるため、人為的に放流されたと考えられる。
- ・授業冒頭の「エコシティたかつ」や「ビオトープ」の話の中で、回数を重ねるごとに、「ビオトープとは？」といった問いに対し、明確に答えられる児童が出てきている。
- ・今後は、学校で、先週学習したビオトープとの違い等を話し合い、夏休みに整備を行い、秋に再度学習支援を実施する。



事前に水を落とし、水草や生きものを採取



生きもの採取



採取した生きものをケースへ移す



生きもの観察



生きもの観察



採取した生きもの